

対象プログラム/科目

名称	留学生別科
----	-------

社会的背景
(促進要素)

(どのような社会的ニーズがありますか。)

- ★ 国策としての大学の国際化による日本の国際競争力増進(グローバル人材育成事業)
 - 1) 日本人学生の海外留学の促進 ⇒ 交換協定校からの交換留学生の受け皿
 - 2) キャンパス内に多様な留学生をとり入れる。
- ✕ 2003年 総務省より打ち出された: 多文化共生

使命

(あなたの組織・言語教育プログラムの使命(ミッション)は何ですか。)

- ・ 受け入れ留学生への日本語教育。
- ・ 本学が契約を結ぶ 日本語教育プログラムを提供することによって 団体の留学生への日本語教育
- ・ 学内の日本人学生と留学生との交流促進

目標

(言語教育活動の目標は何ですか。)

- ・ 留学生個々の生涯学習の一部としての「日本人とのインターアクションのための日本語」を身につける。
- ・ 個々の留学生に 必要な日本語の学習方法を身につける。

実績

(これまでどのような実績がありますか。)

- <研究>
 - ・ 留学生支援の研究プロジェクト。
 - ・ カリキュラム開発のための研究プロジェクト
- <教材>
 - 教科書出版 日本語でインターアクション (Rinsen)
- <使命に対する実績>
 - 交換協定からの受け入れ人数増大

対象プログラム/科目

名称 留学生別科

【構成要素】

15:50 - 16:34

45分

ヒト(関係者)

◎教育・支援スタッフ

種類・役割: どのような教員/支援担当者(コーディネーターなど)がいますか。それぞれの役割分担はどうなっていますか。

① 常勤(7人): 准教授, 上級講師, 講師
 (非常勤(10人), 学内他学部の専任)
 ② 業務コーディネーター, 科目コーディネーター 教員(3人)
 ヘルプコーディネーター(担任)

活動の指針となる考え・方法: どのようなことをスタッフで共有していますか。

① プログラムの特徴
 インターアクション日本語中心, 自律学習
 ② 評価方法. ③ 科目群別の目標
 ④ 科目別実行シラバス ⑤ 授業報告書

◎運営スタッフ

種類・役割: どのような運営担当者(事務担当など)がいますか。それぞれの役割分担はどうなっていますか。

① 別科教務補佐. ⑤ 別科運営委員.
 ② 国際交流課. ⑥ 学長/別科長.
 ③ X言語教育センター(MEC) ⑦ 学務部
 ④ 多言語多文化センター(MULC)

運営スタッフのニーズ: プログラムや学習者に対しどのようなことを期待していますか。

② 国際交流課: 交換招喚校の満足度が高いプログラム,
 ④ MULC: 留学生の事情, 休日の共有

◎学習者

種類・特徴: どのような学習者(正規生, 聴講生, 受講者など)がいますか。それぞれのプロフィール(背景・特性等の特徴)はどのようなものですか。

・ 交換留学生(60名): 15ヶ国, 多林工専攻, 半年~1年在籍.
 ・ IES留学生(35名): 3ヶ国, 多林工専攻, 半年在籍.
 ・ 私費留学生(1~5名): 学生生活全人.

学習者のニーズ: プログラムや日本語学習等に対してどのようなニーズがありますか。

・ 将来の就職に役立つ日本語を身につけたい.
 ・ NI合格.
 ・ 母校の単位振替え.
 ・ 日本への友達を作りたい.

◎その他: 上記以外でプログラムの運営に際し考慮すべき立場の関係者・関係組織

(例えば, 学校経営者, 組織長, 行政の担当者, 予算配分者など)

種類・関わり方: どのような立場の人や機関がありますか。それぞれどのように関わっていますか。

⑧ IESセンター: IES留学生の派遣元
 ⑨ KGCC: 社会人プログラムと連携する学内別組織
 ⑩ CPJS委員会

各関係者のニーズ: プログラムに対しどのようなニーズがありますか。

・ 満足度が高いプログラム.
 ・ 単位互換に問題ない内容.
 ・ Guiding Policyを導いている.

情報(知識・経験なども含む)の共有

	共有範囲: 次の種類の情報をどのような人々と共有していますか。	共有方法: 次の種類の情報をどのような方法で共有していますか。
学習者に関する情報	常勤, 関係の非常勤, ① ② ⑤ ⑥ ⑧	準備会議, 運営委員会 専任会議, 議事録, メール.
カリキュラム・成績に関する情報	同上.	会議.
教育・活動方法に関する情報	同上.	”, メール.
設備・施設等に関する情報	同上. ③ X言語教育センター	主にメール.
プログラム評価(方法・結果等)に関する情報	常勤, 非常勤 ① ② ⑤ ⑥ ⑧	会議, メール * 結果の共有はLINE上
関係者・組織に関する情報	学内外の教員, 学生.	ホームページ公開
予算に関する情報	常勤, ① ② ⑥	会議, 共有フォルダー, メール.
その他の情報		

→ 番号をつ

CPJS委員会

→ 番号で記述!

⑩
 評価の方法は統一していき、結果の共有は準備会議の深情報共有。あとで立ち話。

モノ(施設・設備)

学習者用: どのような施設(ラウンジ, LL, 図書館, 自習室など)設備(コンピュータ, 給湯, 教科書/教材, など)がありますか。	教師・学習支援者用: どのような施設(教員室, 教材用図書室, など)設備(コンピュータ, 給湯, 教科書/教材, など)がありますか。
ラウンジ, 図書館, ライフサイエンス, 多言語多文化センター(MULC) コンピュータ室, 文庫にセンター制度.	共同研究室, 非常勤控室, 教員個室, ラウンジ(学生と共有).

カネ(予算・資金)

十分な予算・資金が確保されていますか。(十分でない場合は, 何のための予算が必要ですか。)

・ 別科予算,
 ・ 学内外の研究助成金

外部の関連団体・プログラム

種類・関係: どのような団体やプログラムがありますか。それぞれどのように関連していますか。

・ IESセンター: 日本語プログラム提供
 ・ KGCC: 社会人プログラムの連携.
 ・ 地域の小学校, 高校: 交流会.
 ・ 市や県の国際交流センター: 社会人センター
 ・ ボランティアセンター: 利用の面談他.
 ・ R大学: Candon共同開発.

対象プログラム/科目

名称 留学生別科

10p

15/18強

【カリキュラム・シラバス等(基本計画)】

【活動】

コース/カテゴリー	<p>どのようなコース(科目)、活動の単位となるカテゴリーがありますか。</p> <p>交換留学生向け</p> <ul style="list-style-type: none"> 必修 <ul style="list-style-type: none"> インターアクション 文法・読解 作文 選択 <ul style="list-style-type: none"> 4つの科目群 <p>IES生向け → 実践英語</p>
レベル	<p>各コースやカテゴリーは、どんな日本語レベルを想定していますか。</p> <p>交換: セロ初級 ~ N1合格と級</p> <p>IES: " ~ 中級</p>
サイズ(人数)	<p>各コースで想定する参加学習者は何人ぐらいですか。</p> <p>交換: 65人</p> <p>IES: 35人</p>
期間	<p>各コースはどのくらいの期間実施されますか。</p> <p>半年</p>
授業(活動)の①単位時間と②頻度	<p>各コースでは、①どのくらい長さの授業(活動)を、②どのくらいの頻度で行ないますか。</p> <p>① 90分</p> <p>② 交換: 必修 8コマ、選択 3コマ</p> <p>IES: 必修 5コマ</p>
内容(技能・ジャンル・活動、など)	<p>各コースでは、どのような内容を目的として授業(活動)を行いますか。</p> <p>インターアクションの為に日本語(言語知識、社会言語、社会文化)</p>
その他(特記事項)	<p>各コースについて、上記の他に何か特記する事項がありますか。</p> <p>・毎学期の初めにプレテストを行う。2学期目の学生も取り入れて、プレスし直す。</p> <p>・履習指導、履習登録は各レベルの担任教員が行います</p> <p>・成績は必修科目はレベルの担任、選択科目は主任へ提出。一度、確認後入力。成績会議で承認</p>

フィードバック・見直し

評価・振返りの結果、どのような改善を行いますか。

※システム利用

計画・準備

【シラバス・カリキュラム等(基本計画)】を実施する前に、どのような準備・計画を行っていますか。

科目概要

※別科専任

↓

実行シラバス作成(詩心情報)

準備会議時の科目別、レベル別打ち合わせ

評価・振返り

どのような評価・振返りのためにどのような活動を行っていますか。

授業評価アンケート(対学生)

授業報告書作成(対別科)

中間報告書作成(IES向け)

研究プロジェクト(量として、何人)生への関わり、アンケート

実施

【カリキュラム・シラバス等(基本計画)】の実施

モニター

【シラバス・カリキュラム等(基本計画)】が計画通りに行われているかを、どのようにチェックしていますか。

プログラムの見直し

根拠の専任

非常勤の担任のやりこみ、他校の担任のこみ

個人?

組織?

科目による

頻度による

成績承認

プロセスの変更

オリコ期間も

授業回数も入ら